

交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

2018年度（平成30年度）北京教育交流訪問を終えて

今年度は、11回目の北京教育交流訪問となりました。

12月24日（月）から28日（金）の4泊5日で、生徒20名、教員5名、教育委員会事務局員等5名、計30名が北京市を訪問しました。

訪問先：首都師範大学第二附属中学，首都体育学院，中央音楽学院附属中学

見学先：北京動物園，王府井，天安門広場，故宮博物院，万里の長城

24日（月）〈第1日目〉

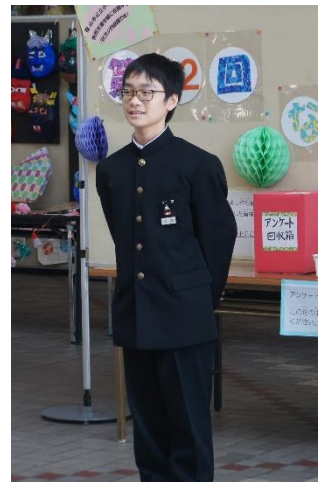
出発式

出発式では、教育長から激励を受け、訪問団を代表して、城北中学校1年の大津貴寛さんが、教育交流に参加した理由や現地でやりたいこと等を伝えました。

出発式終了後、訪問団は、保護者や学校関係者をはじめとする多くの方々に見送られ、北京に向けて出発しました。



教育長 挨拶



生徒代表 挨拶



交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

25日(火) <第2日目>

首都師範大学第二附属中学訪問
北京動物園

首都師範大学第二附属中学訪問

歓迎セレモニーの後、体育科・英語科への授業参加や意見交流を行ったり、学校を案内してもらったりしながら、生徒同士の交流を深めました。

歓迎セレモニー



全校生徒が集合し、歓迎セレモニーを開いていただきました。

訪問団の生徒代表が、英語を交えながら感謝の言葉を伝えました。

学校見学



北京の生徒に案内してもらい、学校内の様々な施設を見学しました。

カーリングや胡弓など、実際に体験することもできました。



英語科授業



体育科授業



北京と福山の生徒がチームを組み、指定された旗を目指して走り、ポイントを集める競争をしました。みんなで頭を突き合わせて考えたり、全力で走ったりするうちに笑顔が溢れていました。



小グループで相談しながら英文を並べ替え、文章を完成させました。協力しながら自然と会話が生まれていました。

文 化 交 流



日本の文化を知ってもらいたい、中国の文化との違いを知りたいという思いから、生徒が体験を通して交流できる内容を考え、実施しました。各ブースに分かれての日本の文化体験や、同じ漢字でも日本と中国では意味がちがうことなどを題材にした〇×クイズを行い、英語での説明にチャレンジしました。

説明が十分伝わらず、とまどう場面もありましたが、あきらめず言い換えたり、ジェスチャーを使ったりしてやりとりする姿から、伝えようという気持ちを感じられました。



北 京 動 物 園



生徒の希望により、動物園を訪れました。パンダや孫悟空のモデルとなったと言われているキンシコウなどの珍しい動物を見学しました。生徒たちは、パンダのかわいい仕草に見入っていました。

交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

26日(水) <第3日目> 首都体育学院・中央音楽学院附属中学訪問
ワンフーチン
王府井

午前中は、2つのグループに分かれ、首都体育学院、中央音楽学院附属中学を訪問し、それぞれ見学や体験をしました。

首都体育学院訪問



首都体育学院では、伝統武術の授業を見学したり、直接教えてもらったりしました。



数種類の体育館や競技場などを備えたとても広い大学でした。学生食堂で昼食を食べるなどして、大学の雰囲気も味わいました。

学生たちは、体育の教員を目指し、がんばっているそうです。



中央音楽学院附属中学訪問



中央音楽学院附属中学では、ピアノや中国伝統楽器である胡弓の個人レッスンなどを見学したり、学生や先生に質問したりしました。



日本の小学生から高校生にあたる年齢の生徒が、将来プロになることを目指し、中国全土から集まるそうです。

自分が選んだ楽器の演奏技術をとことんまで極めることを目指し、個の能力を伸ばしています。



王府井

北京市屈指の大通りには、デパートや土産物店が立ち並び、とてもにぎわっています。生徒は、思い思いのお土産を買いました。



交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

27日(木) <第4日目> 天安門広場・故宮博物院・万里の長城

中国を代表する世界文化遺産を見学し、壮大な中国の歴史に圧倒されました。

天安門広場・故宮博物院

天安門と故宮博物院は、かつて皇帝の居城であった世界最大級の広場と広大な宮殿群です。凍える寒さの中、ガイドさんの説明を聞きながら、自分の足で広さを実感しました。



万里の長城

総延長が約6300kmにも及ぶ大城壁です。青空のもと、より遠くを目指して元気いっぱい歩きました。



交流 国を超えて人とつながる 体験 五感で本物に触れる

28日（金） 〈第5日目〉

解散式



迎えに来てくださった保護者や学校関係者へ、訪問団を代表して広島大学附属福山中学校3年の津川弥央さんがお礼の挨拶をしました。一人一人が自分で考え、意見を交わし、チャレンジした5日間でした。

報告会予定

4泊5日の北京教育交流を終え、生徒たちは、多くのことを学んで帰りました。その学びを、今後、自校や中学校区などでの報告を通して伝えていきます。

また、2月16日（土）には、全体報告会を行います。

